

# 公開講座・セミナー報告

## 第13回 生活の中のカウンセリング

### 子どもへの多様なアプローチ

講師：市川 奈緒子・野坂 祐子・湯谷 優  
平木 典子・尾久 裕紀

子どもの発達には様々な課題があり、またその支援には多様なアプローチの方法がある。今回の生活の中のカウンセリングでは、現代の子どもをめぐる問題とその支援について、多様な領域・視点から、課題と手だてを考えていきたいと考え、「子どもへの多様なアプローチ」というシリーズで企画した。講師の市川先生には「福祉」の立場から、野坂先生には「教育」の立場から、湯谷先生には「司法」の立場から、平木先生には「家

族支援」の立場から、尾久先生には「医療」の立場からお話を頂いた。各々の現場における子どもをめぐる問題の現状、支援のあり方から、個人レベルでの関わりまで非常に具体的な支援の在り方について学び、考えることが出来た。5回の講座で、延べ346名の参加者があり、参加者からの質問や意見も活発に出され、アンケートからも非常に好評であった様子が伺えた。

(小保方 晶子)

#### 〈プログラム〉

##### 市川 奈緒子

白梅学園大学子ども学部子ども学科准教授  
「子どもへの多様なアプローチ  
～障害を持つ子どもを地域で見守る、地域で支える～」  
6月18日（土）

##### 野坂 祐子

大阪教育大学学校危機メンタルサポートセンター准教授  
「危機後の子どもと家族の支援」  
7月23日（土）

##### 湯谷 優

埼玉県警察職員メンタルヘルス・アドバイザー  
「思春期の子どもへの支援～非行臨床の立場から～」  
9月17日（土）

##### 平木 典子

統合的心理療法研究所所長  
「家族療法の考え方を取り入れた支援」  
10月15日（土）

##### 尾久 裕紀

白梅学園大学子ども学部発達臨床学科教授  
「保護者との関わり方一面接の基本について学ぶ」  
11月5日（土）